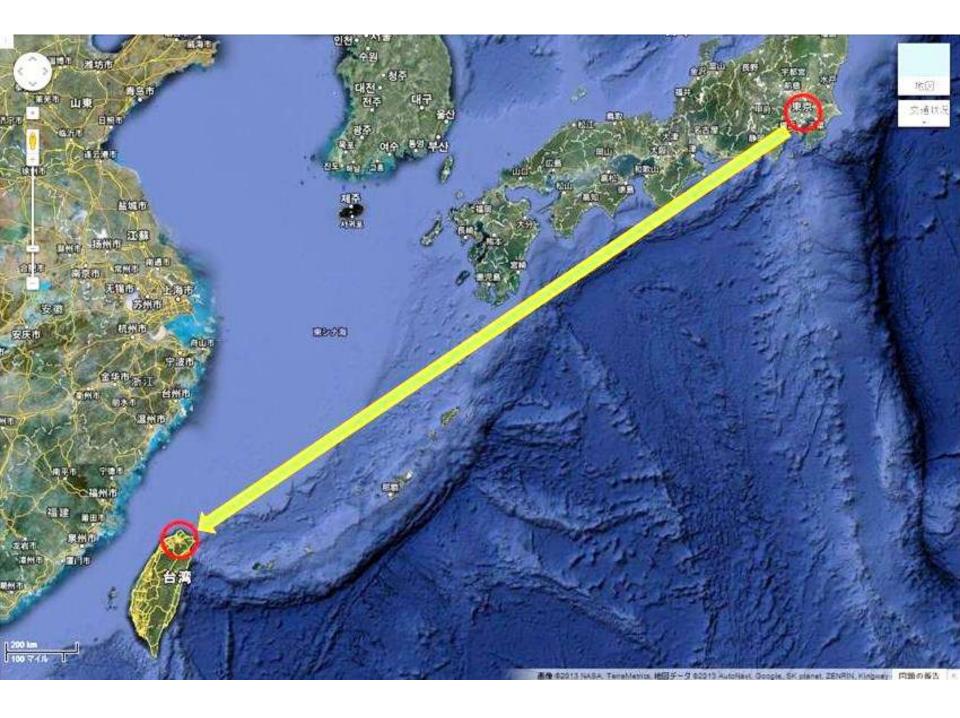
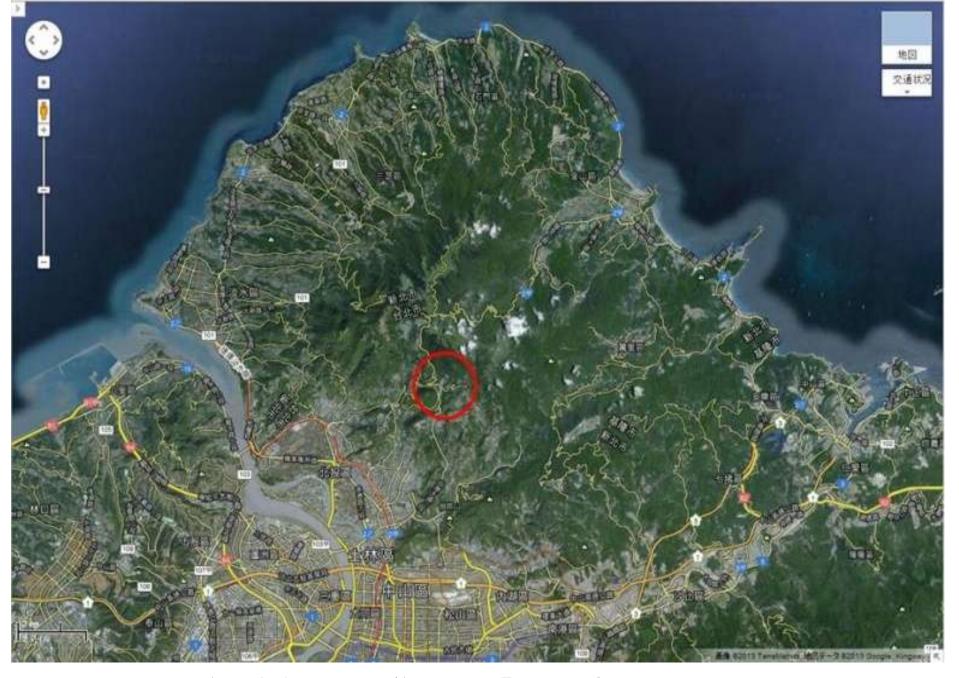
#### 台湾行政院飛航安全調査委員会 事故現場調査用UAVデモ

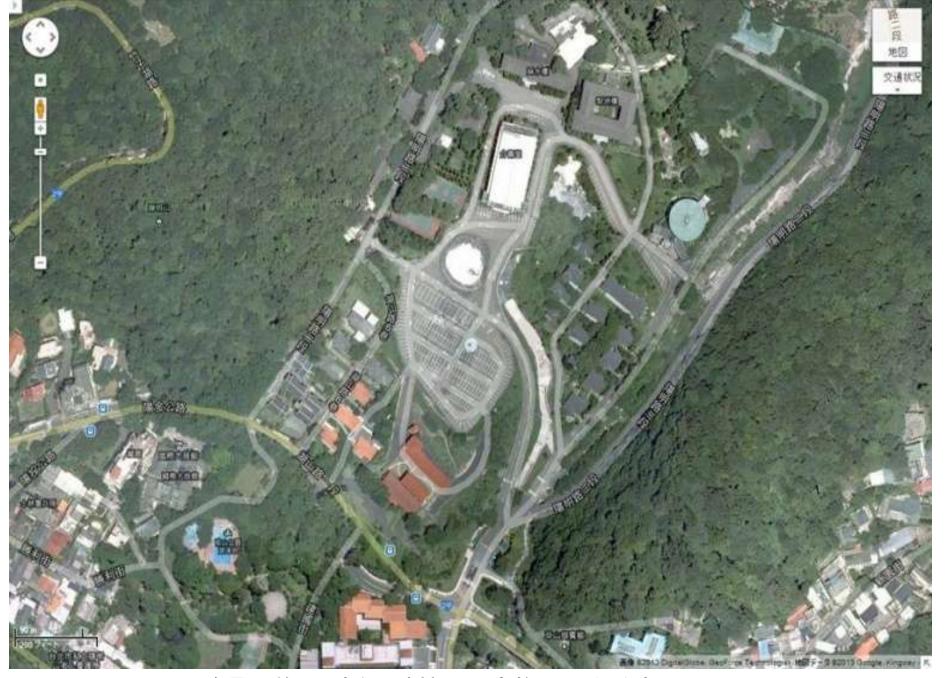
2013年6月14日(金) 9:40~11:00

於・陽明山国立公園内 UAV飛行訓練サイト





台北市中心から北約6kmの陽明山国立公園内



公務員研修所(南側)隣接の温泉施設の大駐車場



研修所敷地内の木製展望台と駐車場の一部を使用



駐車場の一部(4台分)を黄色テープで確保



リモコンとデータリンク用のアンテナ



UAV飛行訓練用の木製展望台

### 航空事故現場調査用UAVの概要

- 自主導航により飛行するUAV航行システム
- UAVにより映像を空撮する標準手順を確立
- UAV映像を基準面に投射する標準手順を確立
- 事故現場の空間的な状況把握システムを開発

- 本体は市販品(オーストラリアのCyberTech社製)
- 高度は気圧高度とGPSを併用
- ソフトはNASAからの特別ライセンス

## UAV里特系統

- ◆ 具備自主導航飛行之UAV航船系統
- ◆ 建立UAV彩像空抬之標準作業程序
- ◆ 建立UAV正射影像鏡數圖之標準作業程序
- ◆ 開發事故現場空間資訊蒐集系統

Tech. Spec. Cyber Tech MAXI

Endurance 35min

Payload 502g

Airspeed 60 km/h

Alimude 1 km (video link)

Max. Wind 10 m/s (36 km/hr)

Panese 1 km (video link)

Total Weight 2510 g









リチウムイオン電池方式マルチコプター(市販)

CyberTech MAXI Tech. Spec. 35mm Endurance 502g Payload 60 km/h Airspeed I km (video link) Altitude 10 m/s (36 km/hr) Max. Wind 1 km (video link) Range 2510 g Total Weight

基本仕様。通常の飛行時間は15分間。



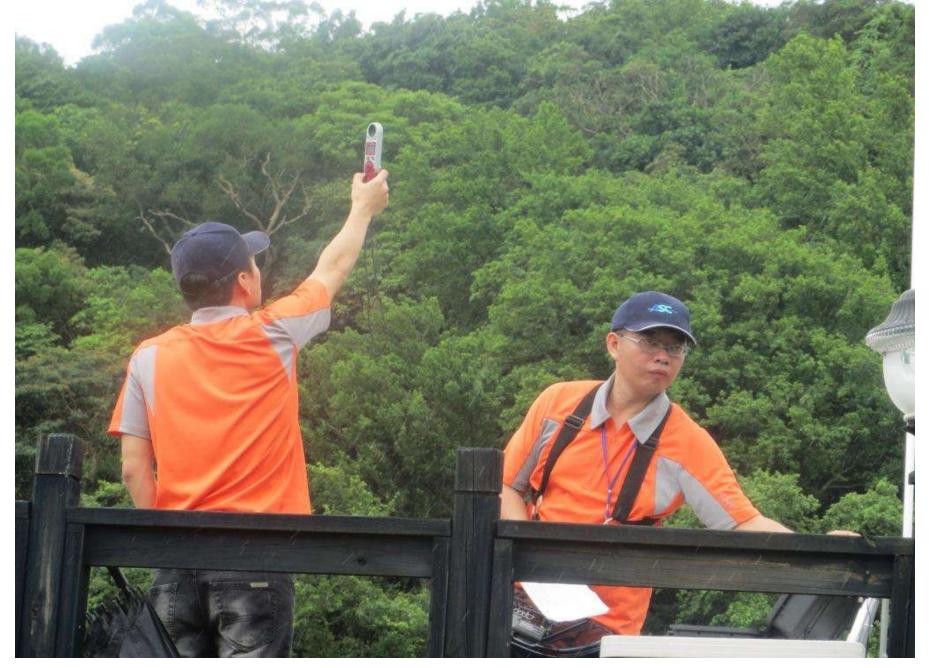
カメラとデータリンク装置の装着状態



フライト後はバッテリーを充電



地上システムの電源はヤマハの発電機



飛行前に風向風速を測定



飛行コースと高度を設定



地点毎のカメラの方向を設定



完全自動で離着陸



飛行状況(1:離陸直後)





高度80mで水平飛行中



少し離れると目視が困難(画面中央の黒点!)



飛行状況表示画面(その1)



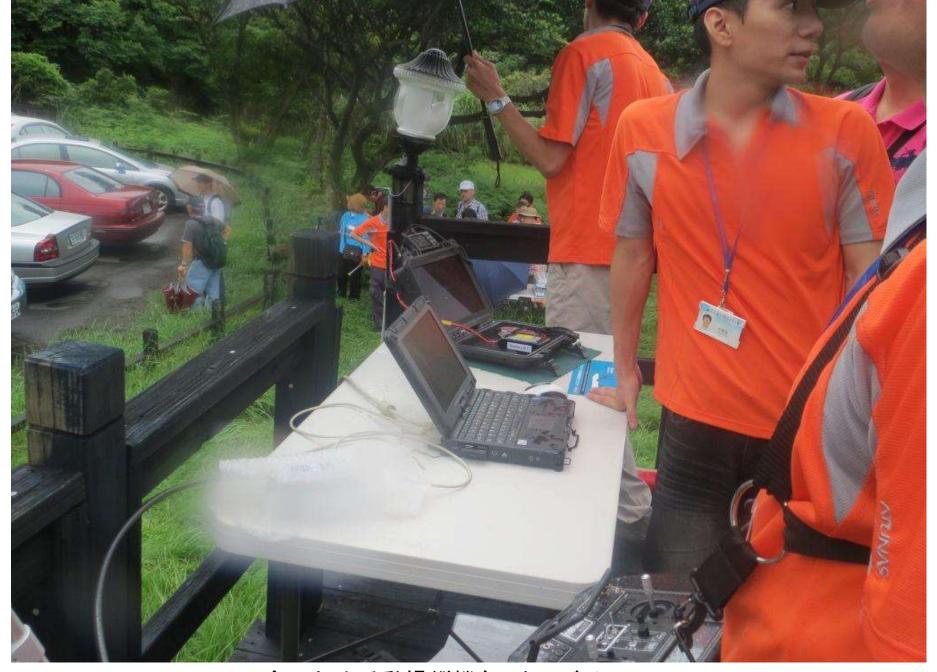
飛行状況表示画面(その2)



飛行状況表示画面(その3)



着陸の理論誤差は5×8mだが実際には正確



念のため手動操縦機もスタンバイ



UAVで撮影した集合写真



3Dレーザ測定器(中央の円形ミラーが高速回転)



操作訓練用のダミー事故機



(残念ながら画面に風景が反射して見えません)処理結果はモノクロ画像。最終的にUAVで撮影して合成したカラー画像に重ね合わせて3D表示。

### おまけ



左:高桑航空事故調査官、中央:垣本専務理、右:松田







# Case Studies on ICT System Failure caused by Software Deficiencies

The 2<sup>nd</sup> AsiaSASI WORKSHOP
Held by Aviation Safety Council, TAIWAN
主催:台湾行政院飛航安全調查委員會
June 13-14, 2013. Taipei, TAIWAN

Organization of Aviation & Railway Safety Promotion, Japan 非営利特定活動法人 航空 - 鉄道安全推進機構

MATSUDA Hiroshi 松 田 宏



第2回アジア航空安全調査ワークショップ参加者



左から、ANA水谷機長、ARSaP中辻理事、ARSaP垣本専務理事、JTSB高桑航空事故調査官、松田